

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

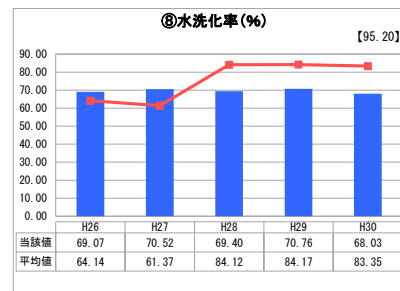
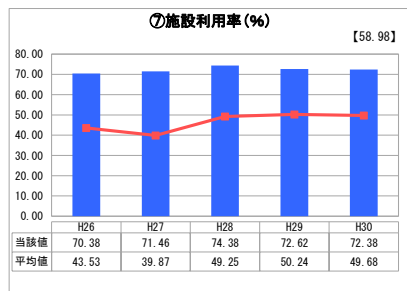
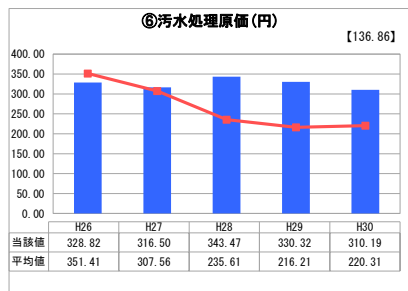
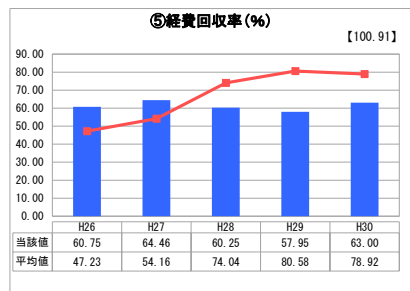
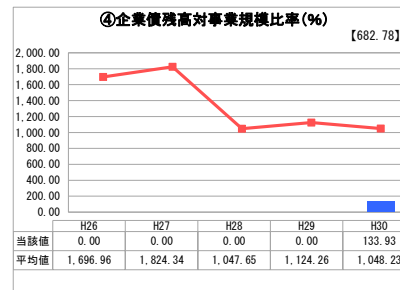
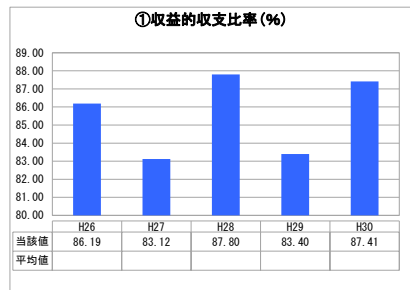
広島県 安芸高田市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金 (円)
-	該当数値なし	14.61	96.62	3,839

人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )	人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
28,808	537.75	53.57
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
4,188	1.78	2,352.81

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

単年度の収支を表す「①収益的収支比率」は、87.41%とこれまでに続き80%台を推移している。面整備完了から4年を経過し、新規加入も安定して収支も横ばい状況になったと考えられる。

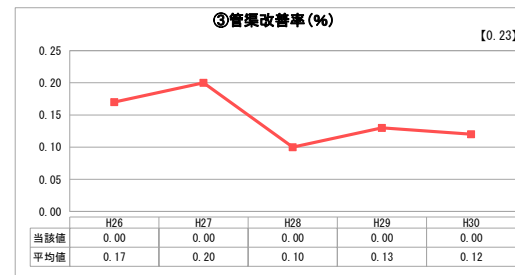
処理区域内で水洗化している戸の割合を示す「⑧水洗化率」は68.03%と前年度に比べ若干下降しているが、「⑤経費回収率」は63.00%と上昇しており、1m<sup>3</sup>当たりの処理に要した費用を示す「⑥汚水処理原価」も前年度に比べ下がっている。

また、施設の一日の処理能力に対する平均処理水量の割合を示す「⑦施設利用率」は、ほぼ横ばいを示しているが、人口減少の影響から施設利用率の低下が懸念される。

### 2. 老朽化の状況について

平成13年度から供用開始し17年が経過している。現在、大規模な施設の更新時期は迎えていない。今後は更新時期に併せストックマネジメント計画を作成し、計画的な更新を実施していく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

平成28年度から、年次更新している経営戦略から経営状況を把握し、事業の継続を目的として、効率性・健全性を高めていく。

また、加入促進による水洗化率の向上や使用料改定による収入確保に努めていく。施設については、老朽化する施設や機器を維持管理面からの視点を併せ計画的かつ効率的な更新を実施していく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。